NIE実践報告

1．タイトル：☆多様な情報から自己の考えを見つけ、表現しよう

2．学校名

福岡県添田町立添田中学校

3．実践者名（代表者名）

金髙　智典

4．学年

第3学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

社会科　87人

6．単元（本時の学習課題）名

新聞を読んで身近なニュースや事件について自分の思いを発信しよう

7．目標（狙い）

自分テーマを決め作成した新聞に、現在の社会で実際に起きている政治･経済の動きを、様々な視点から見るとともに、自分なりの意見をまとめ、表現した新聞を作成する。

8．評価の視点

(1)テーマに沿った記事を選んでいるか。　(2)記事の内容を客観的に分かりやすくまとめているか。
(3)構成やレイアウトを工夫しているか。　(4)写真やグラフ表等が効果的に使われているか。
(5)自分の考えが書けているか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「国民主権と日本の政治」「消費生活と経済のしくみ」
「福祉の充実と生活環境の整備」(教科書教材:大阪書籍)

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

(展開)　(1)政治や経済のしくみについて知識を理解し、現在の課題について考える。
(2)新聞作成にあたってのテーマ設定、記事の収集、新聞作成の基礎を学ぶ。
(3)自分のテーマを設定し、関連する記事を収集し、まとめ、自分の考えを加えた新聞を作る。

(留意点)

- 学年を問わず誰でもいつでも気軽に新聞が読めるように、どの学年の生徒も通る場所に閲覧コーナーを設ける。気になることがあればいつでも以前の新聞が見られるように、一週間ごとにまとめて新聞をストックしておく。
- 公民の授業の中で学んだことが、現実の社会とつながっていることを知って欲しいという思いの下、必ず授業の冒頭で行ったことは、数人の生徒から気になる記事をあげさせること、それに対し、教師が解説やコメントを加え、記事を紹介したこと。
- 朝の10分間読書の時間に自由に閲覧できるようにして新聞に親しませるように配慮する。
- 新聞のテーマは、スポーツ･芸能以外を設定すること。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

新聞作成では、当初切り抜き主体のものから次第に独自の構成で作成できるようになっていくとともに、感想には、新聞の良さや面白さに気づいたり、新聞に対するイメージが変わったなど新聞を身近に感じるようになったことを記述している生徒が増えていった。

12．成果と課題

○登校直後や休み時間に新聞を手に取り読んだり、記事について仲間と話し合ったりしている生徒の姿が見られるようになってきた。
○新聞づくりを通して、多様な情報を取捨選択し多面的･多角的なものの見方･考え方から自己の考えを形成し、発信することができる基礎づくりができ、コミュニケーション能力等の生活のスキル向上につながった。
○生徒の新聞を用いての生徒同士の交流の場を確保することが大切であった。
○新聞を活用する時間や新聞作りの時間を確保し、個別の支援を行う必要がある。